

電機連合の政策・制度実現の取り組みを組合員の皆様によりわかりやすくお届けします。

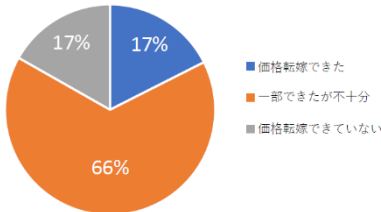
電機連合 総合産業・社会政策部門

実態把握

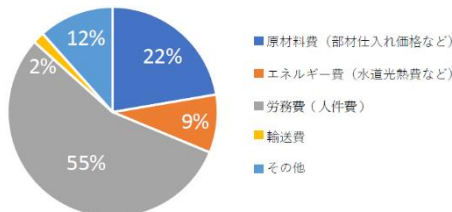
# 適正な価格転嫁の取り組みを紹介します

原材料価格、エネルギーコストに比べ、労務費の転嫁が進んでいない実態を受け、国は「[労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針](#)」を公表。電機連合は指針を周知するとともに「価格転嫁の状況に関する調査」を実施しました。

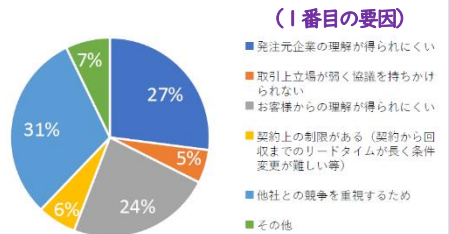
### ●直近1年間における製造コスト上昇分が価格転嫁できたか？



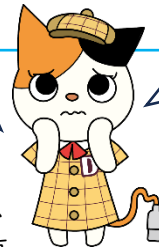
### ●製造コスト上昇の要因のうち価格転嫁が難しいものは？



### ●価格転嫁ができない理由は？



多くの企業で価格転嫁は「不十分」、転嫁が一番難しいのは「労務費」

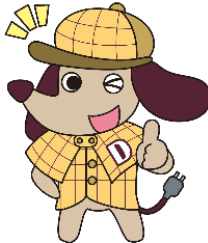


自社が率先して価格転嫁を要請すると競争上不利になるのでは、との懸念が根強いです

### 労使交渉

2024年闘争では、産別労使交渉の中で、電機連合が実施した価格転嫁に関する調査結果の共有と意見交換を通じ、本取り組みの重要性を訴えました。

4回にわたる産別労使交渉を経て、「[労務費を含めた適正な価格転嫁の必要性と電機産業各社における実効性ある取り組みが重要となる](#)」ことについて労使で共通認識をもつことができました。



### 今後の取り組み

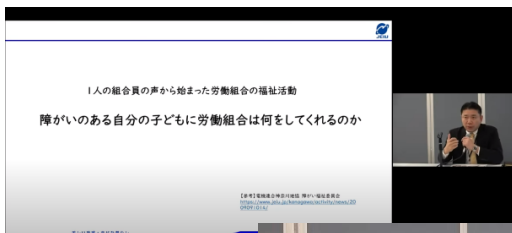
産別労使交渉や業界団体への働きかけなどを通じ、「適正な価格転嫁の実現」に向けた各社の率先した対応とそれら取り組みの周知を求めていきます。また、政策・制度要求実現の取り組みとして国に課題を伝え改善を働きかけていきます。

調査結果の詳細は、YOU・I ネット（会員サイト）に掲載しています➡ [報告書はこちら](#)  
YOU・Iへのアクセスができない方は、所属の組合へお問い合わせください。

# 神保委員長が障がい児等の親と就労をテーマとしたセミナーに登壇

### 報告

電機連合は2023年重点政策の一つに「障がい児等の家族が安心して働き暮らす社会の実現」を掲げて取り組みを進めています。神保委員長が3月9日に開催された障がい児等の親と就労をテーマとしたセミナー「多様性を認め合う風通しのよい社会をめざして」（主催：障がい児及び医療的ケア児を育てる親の会、朝日新聞厚生文化事業団）に登壇し、電機連合の取り組みを紹介しました。



医療的ケア児の母でもある野田聖子衆議院議員は自らの経験を語った。



富田哲郎 J R 東日本会長。他企業に先駆けて障がい児等の両立支援制度を拡充する。

電機連合のこれまでの障がい福祉の取り組みや2024年交渉の取り組みを紹介。質問も多く寄せられた（写真左は司会の市川亨共同通信社編集委員）



### 連続セミナー 障がい児・医療的ケア児の親と就労 第3回

- ➡ [アーカイブ配信はこちら](#)
- ➡ [電機連合資料はこちら](#)

